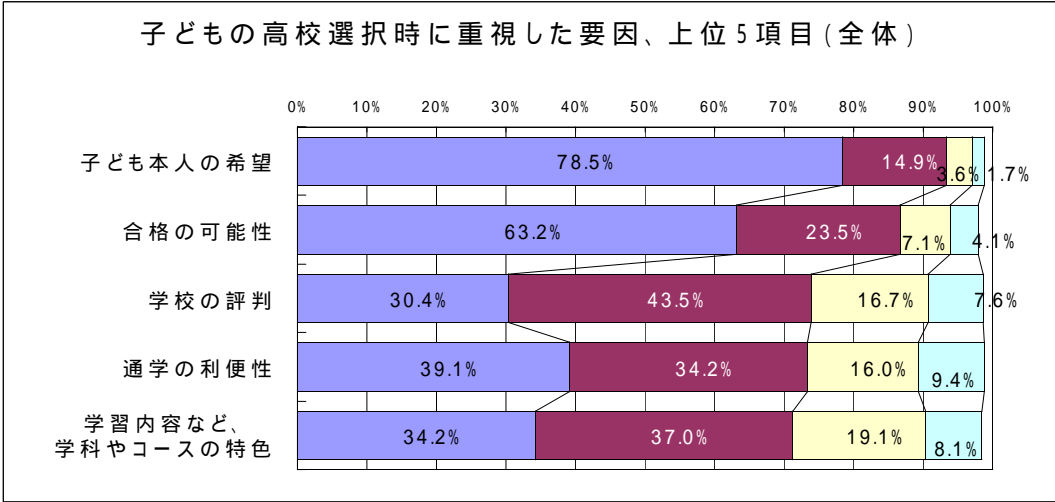


高校入試に関すること

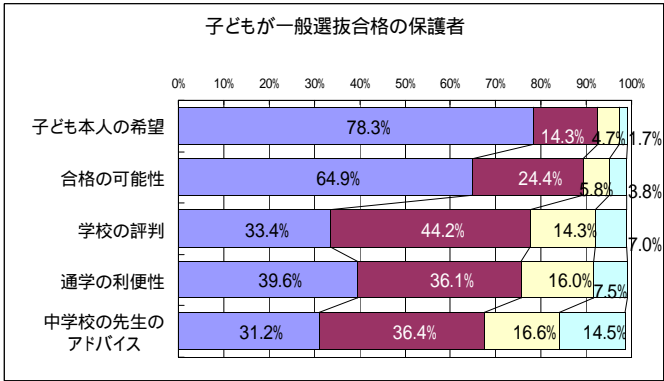
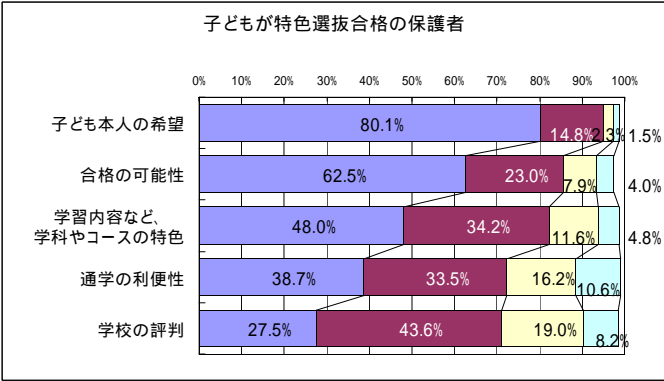
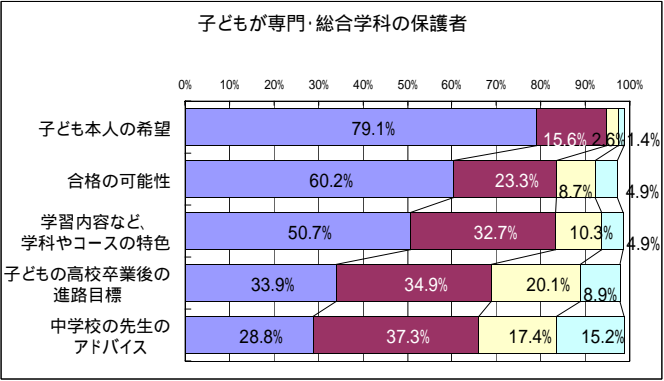
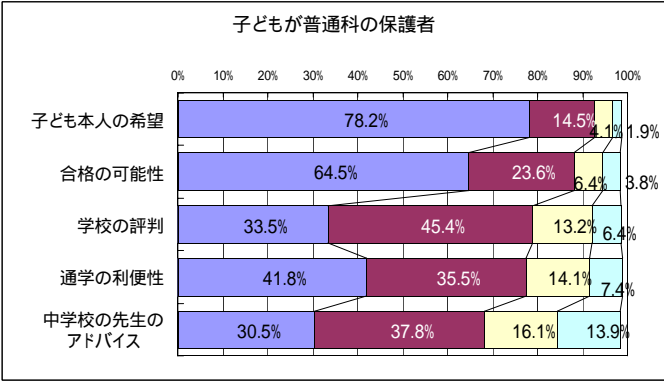
子どもの高校選択時に重視した要因

90%以上の保護者が「子ども本人の希望」を重視。
 子どもが専門・総合学科、特色選抜合格者の保護者は、「学習内容など、学科やコースの特色」を重視する傾向にあるが、普通科、一般選抜合格者の保護者は、「学校の評判」を重視する傾向。
 この傾向は、生徒と同様。

重視した どちらかといえば重視した どちらかといえば重視しなかった 重視しなかった



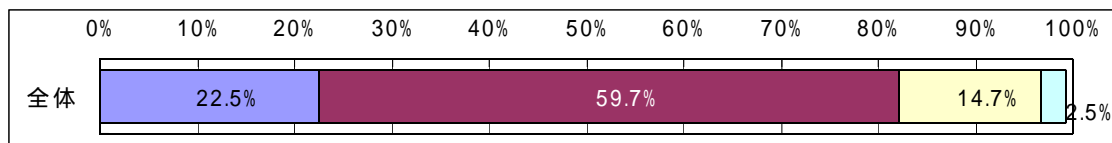
子どもの学科、選抜検査合格者別の高校選択時に重視した要因、上位5項目



子どもの高校受検時における、高校の特色についての理解度

82.2%の保護者が、高校の特色について理解していたと回答。

よく理解していた だいたい理解していた あまり理解していなかった 理解していなかった



特色選抜に関する評価

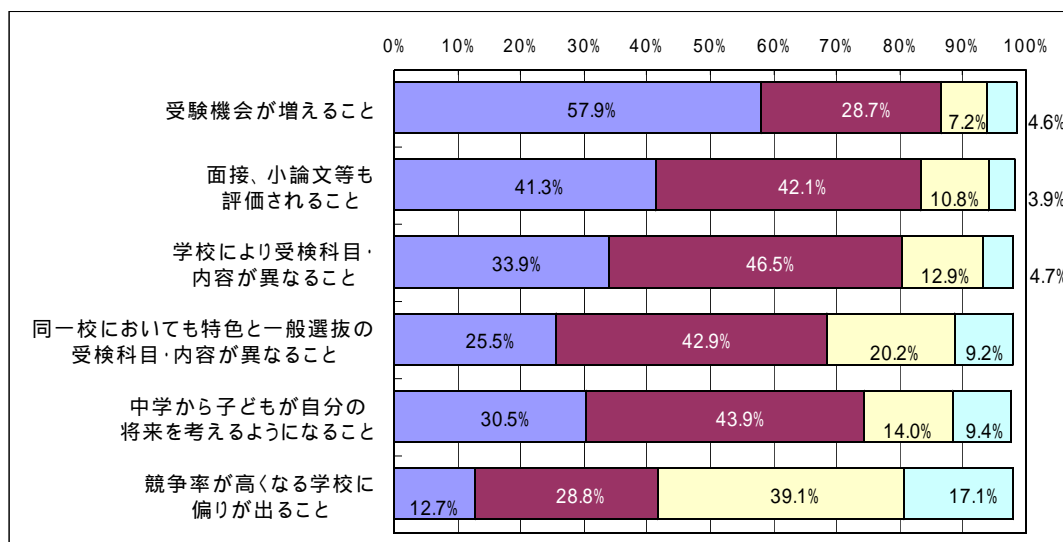
特色選抜に関し、受検機会の複数化・選抜方法や選抜資料の多様化・選抜尺度の多元化などの入試改革は、概ね評価されている。このことは、保護者の方が生徒よりも高く評価している。

特に、保護者86.6%、生徒85.1%と、「受検機会が増えること」を一番高く評価。

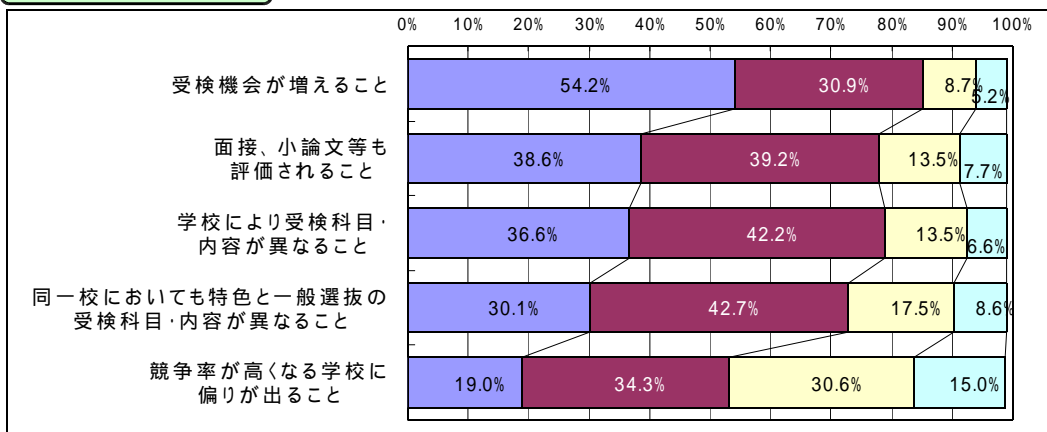
「競争率が高くなる学校に偏りが出ること」は、生徒の53.3%がよいと評価しているのに対して、保護者は41.5%と評価は低い。

保護者の評価

よいと思う どちらかといえばよい
 どちらかといえばよいと思わない よいとは思わない



生徒の評価(参考)



学校運営及び先生に関すること

学校での教育活動の満足度・重要度

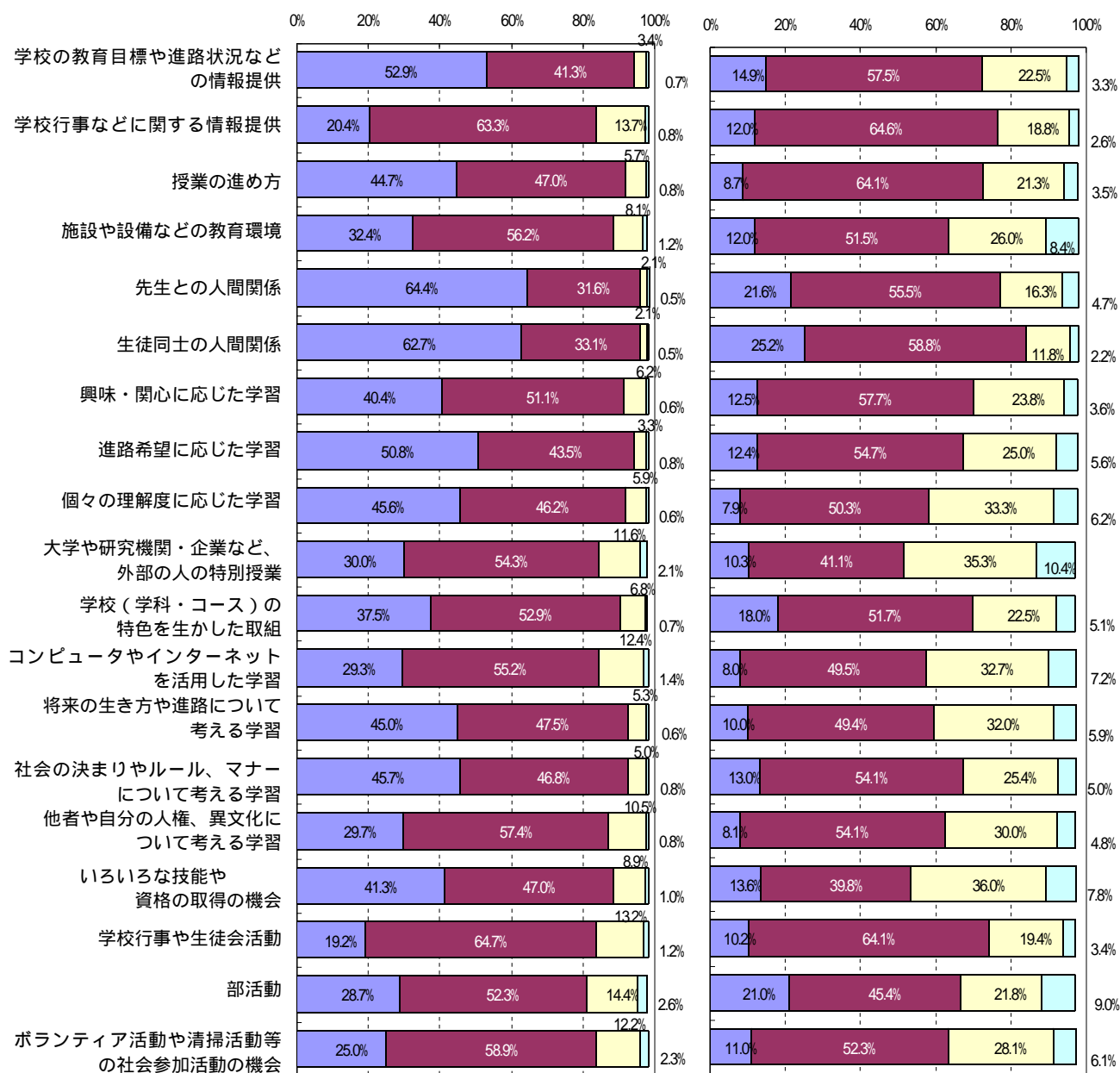
学校においては、生徒同士や先生との人間関係が非常に重要と回答。また、「進路希望に応じた学習」や「学校の教育目標などの情報提供」なども重要性が高いと回答。
 すべての項目に対し、80%以上の保護者が重要と考えている。
 特に、重要度が高く満足度の低い「個々の理解度に応じた学習」や「いろいろな技能や資格の取得機会」、「将来の生き方や進路について考える学習」は、保護者からのニーズが高い教育活動である。

とても重要
 あまり重要とは思わない
 重要
 重要とは思わない

とても満足
 あまり満足していない
 満足
 満足していない

重要度 (全体)

満足度 (全体)

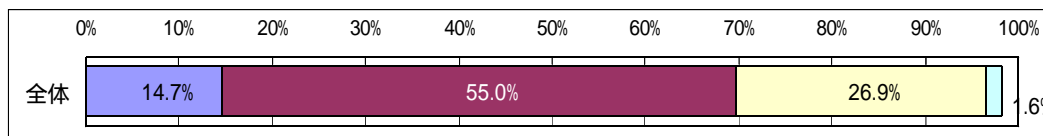


子育てに関すること

現時点での子どもの友人や友人関係の理解度

約70%の保護者が、子どもの友人や友人関係のことを理解している。

よく知っている 知っている あまり知らない 全く知らない



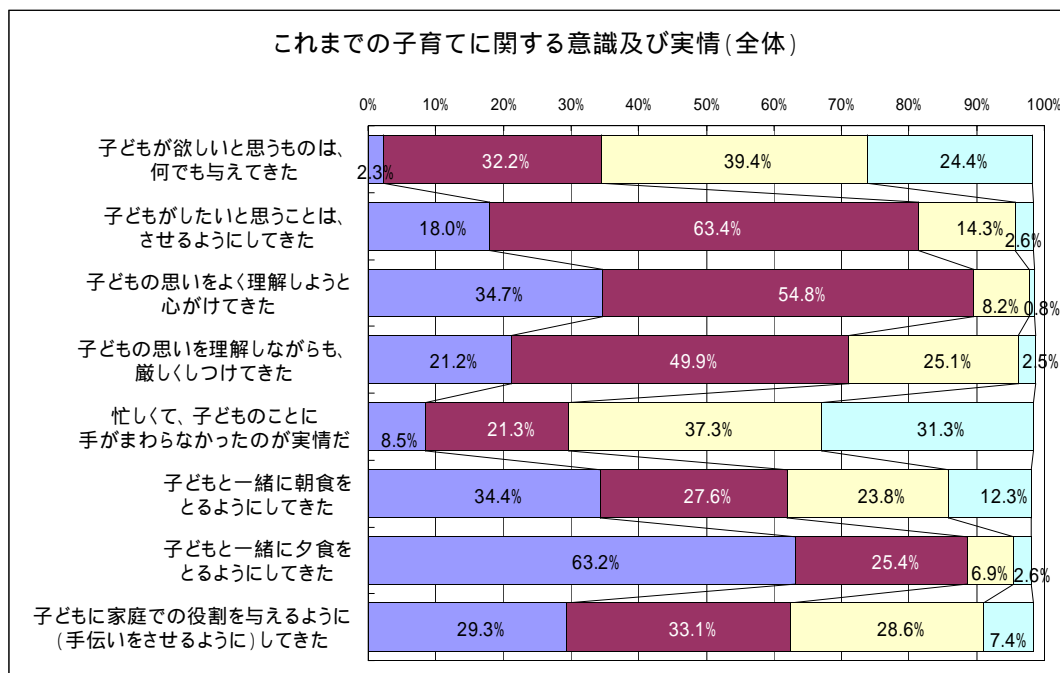
これまでの子育てに関する意識及び実情

これまでの子育てを振り返り、「子どもの思いをよく理解しようと心がけてきた」と回答した保護者は89.5%。

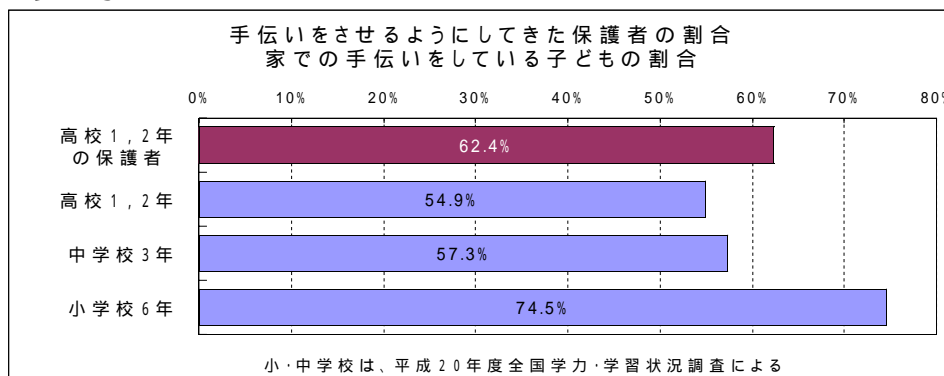
「子どもの思いを理解しながらも厳しくしつけてきた」と71.1%、「忙しくて子どものことに手がまわらなかったのが実情だ」と29.8%の保護者が回答。

「子どもに家庭での役割を与えるように(手伝いをさせるように)してきた」保護者は62.4%。
 なお、「手伝いをしている」と回答したのは、小学生74.5%、中学生57.3%、高校生54.9%。

そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない そう思わない



参 考



子どものことに関する保護者の心配事

子どものことに関し、「進路に関すること」を心配している保護者が、88.4%ともっとも多い。「健康に関すること」、「教育費など経済的なこと」を心配している保護者は、65.8%、62.9%で、割合が高い。

心配している どちらかといえば心配 どちらかといえば心配していない 心配していない

